

月刊きょうと教育通信

vol. 10 平成15年9月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

京都市教育委員会のHPは <http://www.city.kyoto.jp/kyoiku/> でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

～政令指定都市で始めて開設～ カリキュラム開発支援センターがオープン

7月9日、総合教育センター3階に設置した「カリキュラム開発支援センター」開設式を行ないました。開設式では、谷口賢司総合教育センター所長が開設に至る経過を報告した後、門川大作教育長が「京都の教育の素晴らしい伝統を積み上げ、さらに発展させていくための拠点としたい」と挨拶しました。

政令指定都市で初めてとなるカリキュラム開発支援センターでは、5,500点の学習指導案をはじめ教育資料がすぐに活用できるよう教科・領域ごとに配架。また、京都市教育ネットワークに接続したパソコンや多機能カラーレーザープリンターなどの情報機器を設置し、教材や指導案の作成がその場でできるようになっています。

開所日時は、平日の午前9時から午後9時までで、利用者の利便に配慮したものとしています。



夏季休業中には連日、数十名の教職員が訪れ、授業研究や校内研修に向けて多くの資料をワーキングデスクに広げて検討する姿や、英語学習の改善に向けたDVDやビデオの視聴、同学年グループで来所し、指導案をもとに授業について協議する姿など様々な活用風景が見られました。

「教育図書、指導案などの資料が豊富に取り揃えてあり、大変役立つ」「資料の複写、パソコン・複合機なども手軽に使い、これからもどんどん利用したい」という声が聞かれました。

ご意見・お問合せ＝カリキュラム開発支援センター（371-2340）

緊急アピールを发表 ～命を尊び、暴力を許さないために～

中学生が幼い命を奪った長崎での事件や同じ学校の同級生を殺害した沖縄での事件を受けて、7月10日、人づくり21世紀委員会、PTA連絡協議会、地域生徒指導連絡協議会、市立園・学校長会、教育委員会が市役所で緊急会議を開き、「育てよう子どもの心に優しさを！～命を尊び、暴力を許さないために～」と題し、命の大切さを訴える緊急アピールを合同で発表しました。

アピールでは、大人が社会全体として何をするべきかを今一度考え、「家庭で親子が触れ合う時間を増やし、命がかけがえのないものであることを考えさせる」「学校・家庭・地域などの連携を一層深め子どもが存在感や達成感が得られる場を創造する」などを提示。人間が本来もっている「優しい心」を育む環境づくりを強く訴えました。

<9月の主なできごと>

- 1日 ・成人の日をみんなで祝う取組募集（9/1～12/12）
- 3日 ・第1回教育改革推進会議
- 4日 ・こどもみらい館で「総合案内ボランティア活動」を開始
- 13日 ・子どものための講演会「不思議と出会い・科学との語らい」昆虫の不思議（青少年科学センター、対象：小学校4年生以上、無料、事前申込制）
・小学生アイディア展（京都アスニー、入場無料、16日まで）
- 16日 ・第3回特別公開教養講座（午後6時半～、総合教育センター、講師：堀場製作所社長・堀場厚氏、無料、事前申込制）
・第8回子ども読書活動振興市民会議（京都アスニー）
- 21日 ・二条城国際音楽祭で、京都市少年合唱団が、加藤登紀子氏、ツトム・ヤマシタ氏等と共演（二条城）
- 25日 ・第7回21世紀の理科を考える京都市民会議（青少年科学センター）

深草地域に待望の図書館が誕生 コミュニティプラザ「深草図書館」

7月19日、深草小学校の学校図書館が地域の方々にも利用していただける「コミュニティプラザ深草図書館」として新たに開館しました。

この施設は地域のボランティアの方々に支えられて運営される新しい形の図書館で、従来、図書館がなかった伏見区北部に初めて図書館が誕生しました。

面積約500㎡と地域図書館並みの広さをもつ館内には、和室や幼児閲覧コーナーのほか、図書館行事等にも活用できる多目的室「竹の子ホール」があります。

また、蔵書数は学校図書を含わせて現在約18,000冊ですが、将来的には30,000冊を目標に年次的に整備していきます。

開館式当日は、地域にお住まいの方、児童・生徒、PTAの方々約600名の出席のもと、式典と絵本作家永田萌氏による記念講演会「大人



テープカットを行う門川教育長

と子どものための読み聞かせ『しあわせの季節(とき)』を行いました。

開館準備の段階から約50名の地元ボランティアの方々が活躍されており、連日多くの利用者でにぎわっております。

〔開館時間〕

水・木曜日：午後4時～7時、土・日曜日
(祝日の場合：午前10時～午後4時)

〔利用できる方〕

深草中学校区及び藤森中学校区(深草・稲荷・藤ノ森・藤城・砂川・竹田学区)在住の方
ご意見・お問合せ＝深草図書館(645-3383)

養護学校給食の充実へ 第1回試作献立試食会を開催



養護学校再編後の学校給食の充実に向け一人一人のニーズに合った献立内容の検討を進めている中、8月8日(金)に最新のクックチル方式による試食会を呉竹養護学校で開催しました。当日は、保護者、児童・生徒等、約120名の参加者がありました。

試食会では、新しい調理器具を活用した焼き物やグラタン等の新しい献立を含めた11品を提供。そのすべてに普通食、柔らかいほぐし食、柔らかいつぶし食、流動食を用意しました。参加者からは、「薄味で素材の味がわかり、おいしい」という声や「特別食の柔らかさや形状が工夫されており、食べやすい」という意見が数多く聞かれました。

今後、今回の試食会で出た意見を踏まえ、献立内容のより一層の充実を図っていきます。

ご意見・お問合せ＝体育健康教育室(電話213-5473)

なんば一わん

高校普通教室の100%冷房化(政令指定都市初)

放課後の補習や夏季休業期間中における進路補習など、夏季における快適な学習環境を確保するため、本年5月までに洛陽工業高校、伏見工業高校、銅駝美術工芸高校、日吉ヶ丘高校及び塔南高校のすべての普通教室への空調設備の設置を完了しました。

その結果、既に空調設備が設置されている4校と合わせ、政令指定都市では初めて、すべての市立高校の普通教室の100%冷房化を達成しました。生徒からは、「夏の暑い時期でも勉強に集中できるようになった」という声が多く聞かれるようになりました。

今後、今年度中に養護学校の普通教室全室の冷房化を行うなど、教育環境の充実に努めます。

ご意見・お問合せ＝教育環境整備室(電話222-3791)